

令和4年度中野区立南台図書館事業報告

1 図書館概要

開館日：昭和53年（1978年）10月1日

施設規模：地上2階建（557㎡）

閲覧席：46席（内机29席。パソコン利用席2席含む）

利用者開放インターネット端末：1台

蔵書数：図書資料65,892冊（一般書47,717冊、児童書18,175冊）

視聴覚資料（CD）1,938点、購入雑誌79タイトル、購入新聞7紙

貸出冊数：195,857冊（一日平均585冊）※令和2年度比127%増

貸出人数：61,406人（一日平均183人）※令和2年度比122%増

休館日：原則毎月第2木曜日・毎月最終金曜日・年末年始・特別図書整理期間

開館時間：9:00-20:00

※ 蔵書数、貸出冊数、貸出人数は令和3年度実績

2 事業報告（一般）

（1）企画事業

① みどりのカーテン（1階雑誌コーナー付近の窓際）

6月1日（水）～10月28日（金）

プランターを利用したゴーヤの育成によるみどりのカーテンの成長を見守る楽しさと涼感を味わっていただいた。

② ガーデンライブラリー（1階屋上）

6月25日（土）～6月26日（日）

1階屋上を開放し、ガーデンテーブルやチェアによる閲覧スペースを作り、青空のもとで読書を楽しんでいただく企画であったが、猛暑が続き、ご使用になった方は2名のみであった。時期と時間帯を再検討して来年度にのぞんでいく。

（2）地域連携

① 本を借りて川島商店街に行こう！（1階特集コーナー）

4月29日（金）～5月26日（木）

来館者に当館作成のオリジナル商店街イラストマップを進呈し、代表店舗の店主おすすめ本や商店街にまつわる関連本を特集展示し、川島商店街の活性化を図った。

② ハンドメイド特集（オリジナルブックカバー作り）（1階特集コーナー）

5月28日（土）～6月23日（木）

日本ヴォーグ社のハンドメイド関連図書を特集展示するとともに、日本ヴォーグ社社内において「オリジナルブックカバー作り」のワークショップを4回開催し、地元企業と地域住民との橋渡しを図った。

③ 活動センターの「活動」を知ろう！（1階特集コーナー）

9月9日（金）～9月29日（木）

南中野区民活動センターの活動を大きなパネルやDVDなどでできる限り「見える化」し、少しでも一般の方々に「活動」を身近に感じていただこうとアピールした。

（3）次年度に向けて

下記の児童に比べて、一般の企画・地域連携は当館からのアピール力がまだ不足しており、蔵書の質の追求はもちろんだが、児童同様に館外での活動も増やしていく必要がある。商店街とのタイアップで歩行者天国時に出張したり、隣接の多田公園でイベントを企画したりして強化していく。

3 事業報告（児童）

（1）おはなし会

① 定例おはなし会

毎週土曜日午後2時より実施している。

② 小さい子向けおはなし会

0～2歳を対象としたおはなし会を、毎月第3土曜日午前11時より実施している。

③ ブックスタートおはなし会

0歳のお子さんとその保護者を対象に、ブックスタートおはなし会を毎月第3火曜日の午前11時から実施している。また、昨年8月より、南部すこやか福祉センターでの毎月の3～4か月児健診の際に、ブックスタート事業についてPRしている。

④ テーマのある子ども会

子ども読書の日子ども会（4月実施）

七夕会（7月実施）

夏休み自由研究サポート（7月実施）

夏休み工作会（8月実施）

クリスマス会（12月実施）

（2）イベント

① おたのしみ袋

春夏秋冬の季節ごとに、中身をふせた福袋形式で、中に何が入っているかわからないワクワク感と普段選ばないような本との出会いを演出した。

(夏は7月実施済、秋は10月実施済、冬は1月、春は3月の予定)

② ハロウィン 3days

10月29日(土)～10月31日(月)

児童の書架やカウンター周りをハロウィングッズで装飾し、スタッフは魔法使いの帽子やカチューシャで仮装して、子どもたちだけでなく、一般の大人の利用者をも出迎えた。

児童が本を借り、「ハッピーハロウィン」と唱えたら、オリジナルのハロウィン葉を進呈した。

子どもたちはもちろんのこと、大人の利用者も想像以上に好意的で楽しんでいただけた。

(3) 地域連携

① 広町みらい公園にて「出張図書館」と「読み聞かせの会」

5月5日(木・祝) 【えがおの祭典参加】「出張図書館」

本年度初めて、広町みらい公園の「えがおの祭典」に参加し、公園の学習室で、図書館サービス(閲覧・貸出・新規登録等)を行った。

5月22日(日)・10月23日(日) 「読み聞かせの会」

昨年度に続き、春と秋の2回、「読み聞かせの会」を公園の学習室で実施した。

② 【地区まつり参加】南中野区民活動センターにて「出張読み聞かせの会」

10月2日(日)

南中野区民活動センター主催の「地区まつり」に初参加し、一室をお借りして、読み聞かせを実施した。

③ 【南中野フェスティバル参加】南中野区民活動センターにて「出張図書館」

11月3日(木・祝)

青少年育成南中野地区委員会主催の「南中野フェスティバル」に初参加し、和室をお借りして本を置き、休憩がてら本を読んだり、親子で読み聞かせをしたりという場を提供した。スポット的におはなし会も実施した。

④ 【かっぱまつり参加】南台小学校校庭にて「防災クイズ」

11月19日(土)

みなみ児童館主催の「かっぱまつり」に初参加し、南台小学校校庭の1ブースにて、防災コーナーの防災関連のクイズを担当した。

⑤ 【みなみの小学校開校5周年お祝い! DAY! 参加】みなみの小学校体育館にて「読み聞かせ・クイズ・折り紙」

11月26日(土)

みなみの小学校の5周年のお祝いに参加し、体育館の1ブースにて、クイズや

折り紙・読み聞かせを行った。景品の南台図書館名入りの鉛筆も好評だった。

⑥ みなみ児童館にて「絵本講座」

9月22日（木）

みなみ児童館へ出張して、乳幼児のお母さま方に絵本講座を実施した。

⑦ 南中野児童館にて「出張おはなし会」

11月9日（水）

南中野児童館へ出張して、0歳児を中心におはなし会を実施した。

（4）次年度に向けて

地域連携の取り組み（（3）①～⑤）では南中野地域の公共団体の「おまつり」に初めて参加し、当館の認知度・好感度をアップさせ、地域活性化の一助となったと自負している。来年度もさらに趣向を凝らして参加し、また、初めて学校にこちらから出向いて利用案内をしたり、児童カードにポイント制を試みたりして、新しい企画にもチャレンジしていく。

4 利用者アンケート結果報告

（1）結果概要

実施期間：令和4年8月1日（月）～31日（水）

有効回答数：154枚

（2）分析

① 今年度の評価

1) 来館目的と滞在時間の変化	貸出・返却	46.5%→63.2%
	滞在時間30分未満	49.3%→63.0%

来館目的の貸出・返却が多いのは通例だが、本年は63.2%（前年は46.5%）と大幅に増え、閲覧が8.1%（前年は20.4%）と大きく減少した。

滞在時間を見ても、上記のとおり増加しており、利用者の大半は読みたい本をあらかじめ決め、予約もし、図書館内はカウンターとの往復でほぼ済ませてしまうという傾向である。

もちろん、コロナの感染防止という点も当然あるだろうが、居心地の良さやブラウジングの楽しさを与え切れていないというメッセージとして真摯に受け止めたい。

2) 今後充実してほしい子供向けサービスについて

所蔵資料の量と質 15.9%

閲覧席・自習席の増加 15.9%

今回質問を「子供向け」に限定したため、前年との比較はできないが、上記

のとおり、「所蔵資料の量と質」と「閲覧席・自習席の増加」との数値が並んだことが特徴的と言える。

資料の量と質が高い比率になるのは通例だが、それと同じ比率で閲覧席・自習席の要望があるのは、子どもたちを代弁する子育て世代のお母さま方の声と思われる。

児童コーナーとYAについても、思い切った除籍と書架の整理で、少しでもスペースを作り出し、居心地の良さを演出していくことが大事かと思われる。

② 次年度に向けて

上記 1)と 2)から、「資料の充実」と「快適な場としての図書館」との両方を求められていることが明らかである。もちろん、物理的にスペースは限られており、その両方をひとつの地域館が完璧に満たすことは不可能である。それでも、両者をいかにバランスよく充実させていくかを常に考え、さらなる図書館サービスの向上を図っていきたい。